

一本庁舎耐震補強等工事の概要

- 【地階】
既存ブロック壁解体・耐震壁化
採光用開口部縮小・耐震壁化
- 【1階】
東西壁解体・耐震壁化
通路側柱・アラミド繊維巻補強
- 【2階】
東西壁解体・耐震壁化
通路側柱・アラミド繊維巻補強
- 【3階】
外壁沿い柱・鉄骨柱補強
- 【展望室】
耐震壁増設
- 【屋根】
鉄骨トラス補強
- 【その他】
外周部塗装・防水
各階トイレの改修
各階窓ガラス(Fix)飛散防止用フィルム貼

一事業費等の概要

- 須坂市役所本庁舎耐震補強等工事設計業務委託
委託先 株式会社 宮本忠長建築設計事務所 代表取締役所長 宮本忠長
履行期間 平成18年5月26日から平成18年8月18日まで
委託料 金 3,675,000円
 - 須坂市役所本庁舎耐震補強等工事監理業務委託
委託先 株式会社 宮本忠長建築設計事務所 代表取締役所長 宮本忠長
履行期間 平成18年10月31日から平成19年3月23日まで
委託料 金 2,100,000円
 - 須坂市役所本庁舎耐震補強等工事
施工者 マツナガ建設株式会社 代表取締役 和田久男
工事期間 平成18年10月23日から平成19年3月16日まで
工事費 金 146,076,000円
- ◆ 事業費合計 151,851,000円 ◆

一財源内訳

● まちづくり交付金	60,700,000円
● 市債	68,300,000円
● 一般財源	22,851,000円
合計	151,851,000円

本庁舎耐震補強等工事 多目的(防災)広場造成工事 の概要

一多目的(防災)広場造成工事の概要

- 多目的(防災)広場 ●
 - 【植栽等工事】
・ 樹木の移植
・ 記念碑の移設
 - 【雨水排水工事】
・ 雨水貯留浸透施設
・ 敷地内側溝・雨水集水槽設置
 - 【ステージ工事】
・ ステージ床下倉庫
※ 本部用テント・各種物品・特別管理産業廃棄物保管場所
 - 【スロープ工事】
・ 融雪設備埋設
 - 【自転車置場工事】
・ 30台程度収容(その他屋外駐輪場整備)
※ 非常時物資集積場所
 - 【パーゴラ工事】
・ 防災(かまど)ベンチ4基
・ 給水設備
 - 【非常用トイレ工事】
・ 下水道接続マンホールトイレ2箇所
・ 汲取り式マンホールトイレ2箇所
※ テントブース収納
 - 【融雪装置設置工事】
・ 埋設型融雪機設置2箇所
 - 【駐車区画敷】
・ 来庁者用24台(内2台車椅子利用者用)
・ 公用車用22台
- 備蓄倉庫・公衆用トイレ ●
 - 【備蓄倉庫】
・ 1階 84.23㎡ 2階 142.18㎡
 - 【現業休憩室】
・ 1階 10.18㎡
 - 【公衆用トイレ】
・ 多目的トイレ 9.59㎡
車椅子対応便器1基、オストメイト対応トイレ1基
バリアフリー洗面器1基、収納式多目的シート1台
・ 男子トイレ
洋式便器1基、小便器3基
・ 女子トイレ
洋式便器2基、和式便器1基

一事業費等の概要

- 多目的(防災)広場造成工事設計業務委託
委託先 株式会社 宮本忠長建築設計事務所 代表取締役所長 宮本忠長
履行期間 平成19年5月8日から平成19年7月27日まで
委託料 金 4,200,000円
 - 多目的(防災)広場造成工事監理業務委託
委託先 株式会社 宮本忠長建築設計事務所 代表取締役所長 宮本忠長
履行期間 平成19年10月4日から平成20年3月28日まで
委託料 金 1,470,000円
 - 多目的(防災)広場造成工事電気設備工事
施工者 藤沢電気工業株式会社 代表取締役 藤沢一彦
工事期間 平成19年9月6日から平成20年1月18日まで
工事費 金 20,475,000円
 - 多目的(防災)広場造成工事機械設備工事
施工者 株式会社 信東産業 代表取締役 中村剛久
工事期間 平成19年9月11日から平成20年1月18日まで
工事費 金 54,778,500円
 - 多目的(防災)広場造成工事解体工事
施工者 須坂土建工業株式会社 代表取締役 山崎覚道
工事期間 平成19年10月25日から平成20年1月31日まで
工事費 金 30,660,000円
 - 多目的(防災)広場造成工事建築整備工事
施工者 株式会社 中沢工務店 代表取締役 中沢公治
工事期間 平成19年12月19日から平成20年3月28日まで
工事費 金 115,657,500円
- ◆ 事業費合計 227,241,000円 ◆

一財源内訳

● まちづくり交付金	83,000,000円
● 市債	93,400,000円
● 一般財源	50,841,000円
合計	227,241,000円



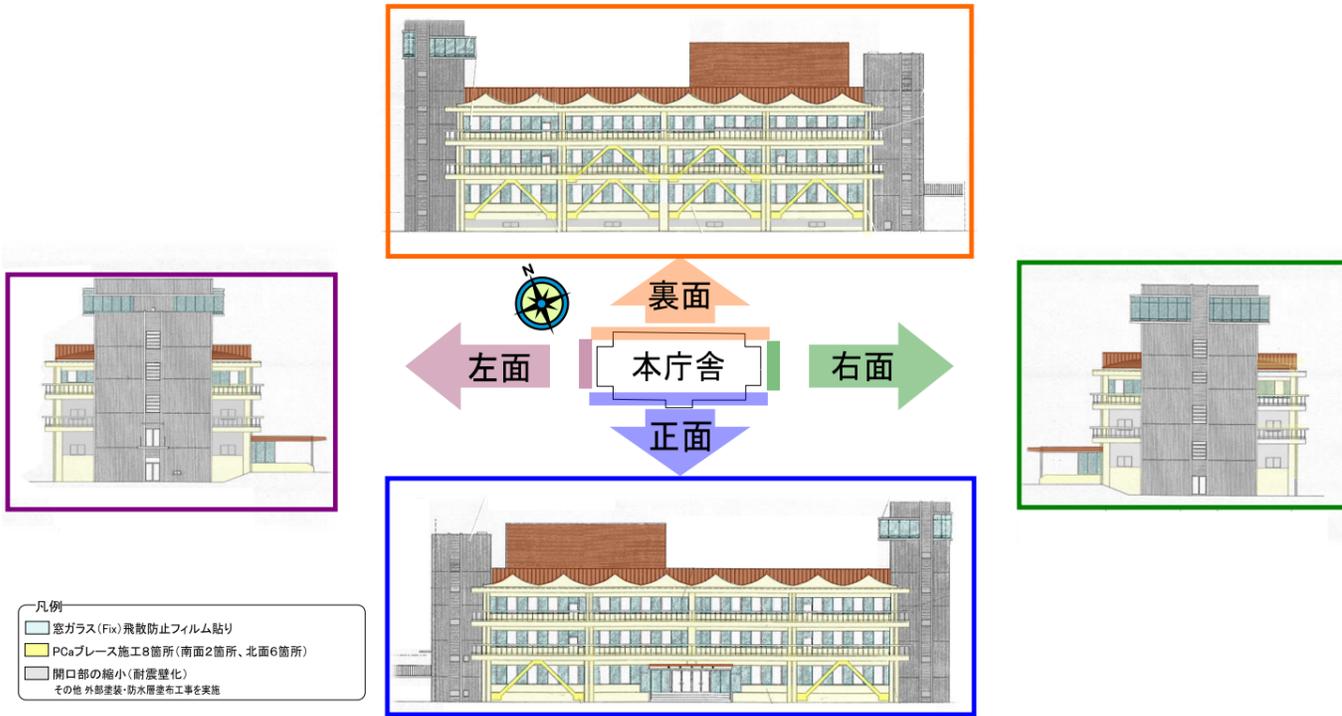
平成20年3月31日



須坂市

平成18年度 須坂市役所耐震補強等工事

平成19年度 多目的（防災）広場造成工事



- 凡例
- 窓ガラス(Fix)飛散防止フィルム貼り
 - PCaプレース施工8箇所(南面2箇所、北面6箇所)
 - 開口部の縮小(耐震壁化)
 - その他 外部塗装・防水層塗布工事を実施

外周部補強の状況



各階柱補強の状況



各階耐震壁の設置状況



各階トイレの改修状況



構造耐震指標に見る本庁舎耐震補強工事前後の比較

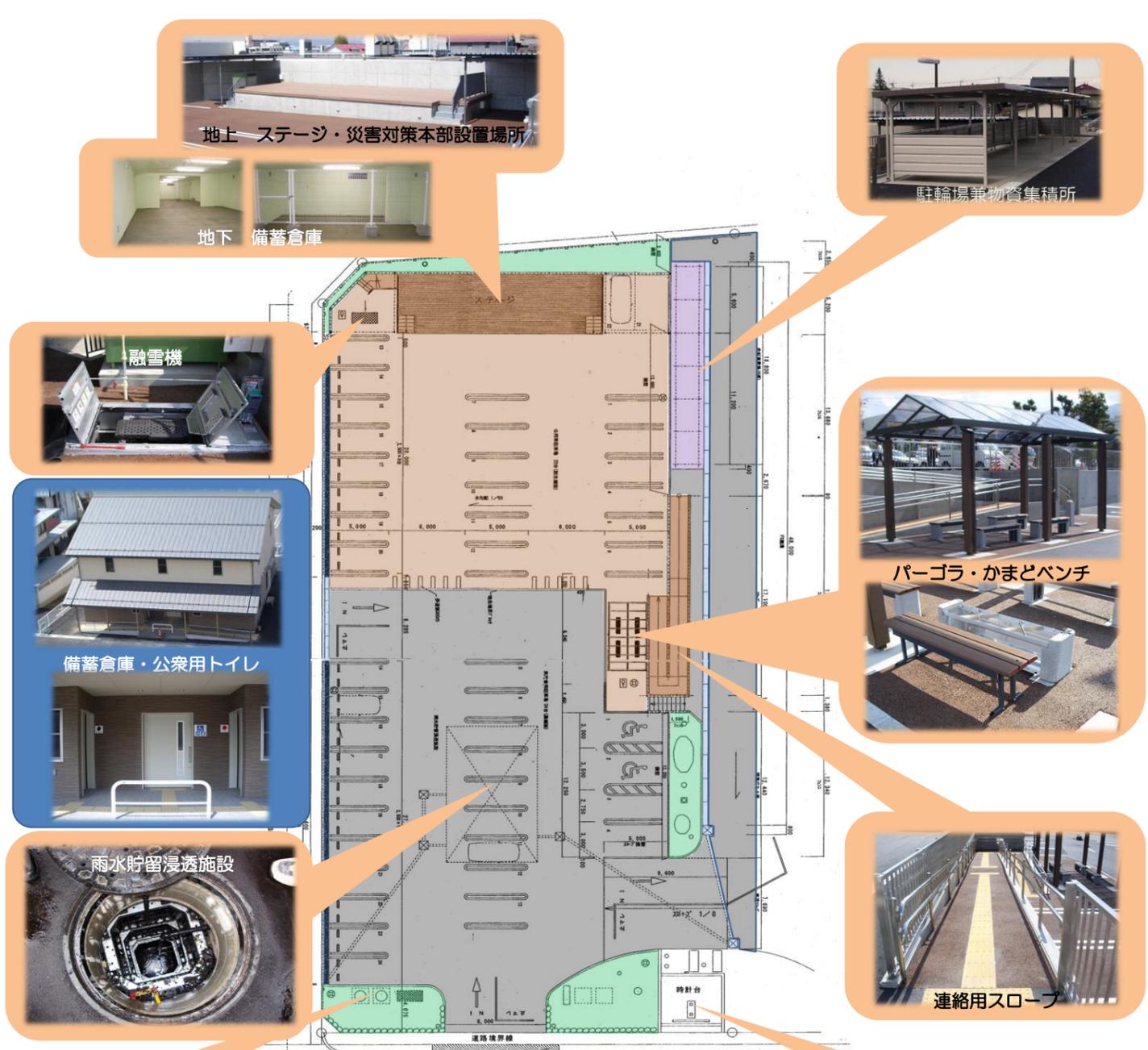
構造耐震判定指標
ISo値=0.75 ※市防災拠点の為、基準値0.6×重要度係数1.25で算出

○耐震補強前○
IS値=0.58(平均値)

○評価○
地震及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

●耐震補強後●
IS値=0.83(平均値)

●評価●
比較的頻度の高い中小地震(震度5以下)に対して被害が生じず、防災拠点としての機能が保全される。また、極めて稀にしか生じない大地震(震度6~7)が発生したとしても、建物の倒壊による人的被害が生じる危険性が格段に低くなった。



— 多目的（防災）広場の用途について —

平常時は、広場の南側を来庁者駐車場、北側を公用車駐車場とし、休日にあつては、各種イベントスペースとして開放します。

また、非常時（災害発生時）にあつては、本庁舎3階災害対策本部の機能が地震等により麻痺した際の

1. 本部設置場所
2. 応急救護場所
3. 各種災害の情報の収集・発信基地
4. 主たる避難場所を補完する避難所

として活用して参ります。





備蓄倉庫・公衆用トイレ



連絡用スロープ



地上 ステージ・災害対策本部設置場所



パーゴラ・かまどベンチ



融雪機



マンホールトイレ



地下 備蓄倉庫

